

# 平成27年度学校評価結果公開資料

浜田ビューティーカレッジ

## ● 自己評価結果

### 1. 教育理念

評価項目	評価達成結果
学校の理念、目的、人材育成は定められているか	5. ④ 3 .2 .1
学校の理念、目的、人材育成特色が保護者等に周知されているか	5. 4. ③ .2 .1

5.十分に達成、4.概ね達成 3.普通 2.まだ不十分 1.ほとんど進んでいない

#### (1).課題

教育理念は寄付行為第3条にまた学則第1条に、「本校は学校教育法、美容師法に基づく、将来美容師になろうとする者に必要な知識技能を授け、併せて徳性を涵養することを目的とする」旨をうたい掲げてきている。また入学時に学生達に「学習の手引き」を配布し常に教育理念の浸透に努めてきた。しかしながら、教員や学生達に今一步浸透に不足しているように見受けられ、一層の努力が必要である。保護者にも入学時だけでなく周知していく必要がある。

#### (2).今後の改善方策

理念や求められる学生像について、式、朝礼・終礼等で学生にはことある毎に伝える。HPを見る保護者ばかりとは限らないので、学校便りを作成して届ける。その中に理念等を織り込む。

### 2. 学校運営

評価項目	評価達成結果
目的に沿った学校運営方針や事業計画が策定されているか	5. ④ 3 .2 .1
運営組織や意志決定機能は、規則において明確に機能しているか	5. 4. ③ .2 .1
教務、財務等の組織整備は、適切に行われているか	5. ④. 3 .2 .1
人事、給与に関する規則は整備されているか	5. 4. ③ .2 .1
教育活動に関する情報公開が適切に行われているか	5. 4. 3 .② .1

5.十分に達成、4.概ね達成 3.普通 2.まだ不十分 1.ほとんど進んでいない

#### (1).課題

専修学校設置基準および美容師養成施設指定規則を遵守し、教職員の採用ならびに組織編成が実施されている。美容師養成施設指定規則による基本的方針教員基準に基づき、専任教員(10名) および兼任教員(8名)を適切に配置し、必修科目と選択必修科目の講義・実習を行っている。

教職員の働き方については、内部では相当に努力して、連携を深め情報の共有に努力してきた。ただ 外部からみると学生達は笑いの絶えない学校とみられているが、プロフェッショナルな職業に就く者達には厳しさのある指導も必要と感じられる。

#### (2).今後の改善方策

職員を1名増員して、組織整備を充実する予定である。

### 3. 教育活動

評価項目	評価達成結果
教育課程の編成・実施方針が策定されているか	5. 4. ③ .2 .1
学科等のカリキュラムは、体系的に編成されているか	5. 4. ③ .2 .1
授業評価の実施、単位認定、進級、卒業の基準は明確になっているか	5. ④. 3 .2 .1
資格取得の目標に向け指導体制、カリキュラム等の取り組みが行われているか	5. 4. ③ .2 .1
人材育成目標達成に向け授業を行うことができる教員を確保しているか また、職員の能力開発のための研修等が行われているか	5. 4. ③ .2 .1

5.十分に達成、4.概ね達成 3.普通 2.まだ不十分 1.ほとんど進んでいない

#### (1).課題

美容師国家試験合格率100%を目指している。校外で開催される中国地区理容美容競技大会、島根県美容技術大会、SPC山陰地区競技大会に毎年参加している。大会に向けての練習は授業だけでなく放課後も自主的に取り組み、学生のモチベーションは上がり、美容技術向上にもつながっている。また本校は毎年「浜田ビューティーカレッジグランドコンテスト」を主催し、地域のプロの美容師さんたちにも選手として参加を招聘するなどして技術向上に努めている。県外からも参加もあり好評であるので運営は大変だが継続していきたい。  
成績評価は100点法で行い60点未満は不認定としている。学年末評価をもってその学年の最終評価とする。卒業については必修科目、選択必修科目の各科目の総時間数の90%以上の出席率、全ての科目が60点以上で、履修が認定されなければ卒業が認められない。欠点をとった場合は必ず追試を行い、出席時間数の不足する者については、補講を行い学力の向上、卒業認定者数の向上維持に努めている。今年度は卒業段階で熟慮したケースがあった。保護者とも話をし、国家試験受験資格を与えないこととした。

#### (2).今後の改善方策

28年度は理容美容学校学生技術大会の受け入れ校になっているので、この機会を生かして技術の向上につなげる。進級、卒業については学生本人だけでなく保護者へもこまめに連絡を取り、よりきめ細やかな指導をする。

### 4.学修成果

評価項目	評価達成結果
就職の向上が図られているか	⑤. 4. 3 .2 .1
資格取得率の向上が図られているか	5. 4. ③ .2 .1
退学率の低迷が図られているか	5. ④. 3 .2 .1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	5. 4. ③ .2 .1

5.十分に達成、4.概ね達成 3.普通 2.まだ不十分 1.ほとんど進んでいない

#### (1).課題

就職率は7年間連続で100%である。ただ国家試験の合格率は満足とはいえない。特に学科部門においては一層の努力が必要である。卒業生の中には、島根県最大の美容室を経営するなど、島根県の主要な町で活躍している者もいる。

#### (2).今後の改善方策

国家試験合格率を上げるため、3学期は特に放課後の練習を奨励する。

## 5. 学生支援

評価項目	評価達成結果
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	5. 4. ③ .2 .1
卒業生への支援体制はあるか	5. 4. ③ .2 .1

5.十分に達成、4.概ね達成 3.普通 2.まだ不十分 1.ほとんど進んでいない

### (1)課題

高等課程については修学支援金等の支援もあり経済的には、安定している。経済的困難な者には、(公財)島根県育英会、日本学生支援機構制度を紹介しており利用している学生もいる。本校では、株式会社オリエンコーポレーションと提携して、簡単な手続きで利用可能な学費サポートプランを導入している。アルバイトの紹介やアパートの紹介等行っているが、まだ不十分である。親元を離れている学生もいるので保護者と連絡を取り合いながら支援する必要がある。

### (2)今後の改善方策

検定料等も必要になるため、個人負担は増える傾向にある。早めに必要経費を伝え協力を得るように努力する。

## 6. 教育環境

評価項目	評価達成結果
施設設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	5. 4. 3 ② .1

5.十分に達成、4.概ね達成 3.普通 2.まだ不十分 1.ほとんど進んでいない

### (1)課題

教室、設備等は美容師養成施設施行規則に合致したものになっている。平成15年には教室を大幅に改装し、学生用机、椅子なども新しいものに入れ替えた。平成21年には実習室を改装し、今までのサイドシャンプー5台に新規リアーシャンプー5台を追加した。平成24年には視聴覚機器も新しく購入した。また平成25年には校舎の屋根瓦の葺き替え、外部塗装のやり直しなど進めてきた。高等課程を新設したため、予備の教室がない等、課題は残っている。

### (2)今後の改善方策

財務状況をみながら、設備投資をしていくが、早急にはできない状況である。そのためにも学生を増やす必要がある。

## 7. 学生募集

評価項目	評価達成結果
学生募集活動は、適正に行われているか	5. 4. ③ .2 .1
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	5. 4. ③ .2 .1
学納金は、妥当なものになっているか	5. ④ 3 .2 .1

5.十分に達成、4.概ね達成 3.普通 2.まだ不十分 1.ほとんど進んでいない

### (1)課題

自己推薦入試、特待生入試、推薦入試、一般入試と多様である。入学者受け入れ方針に沿った学生の受け入れがなされている。少子高齢化で若者自体の人数が減少している。この地域の高校生は、広島や大阪に出る生徒が多い。高等課程についても中学校から進学するよりもとりあえず高校進学をする生徒が多い。学校教員もそれを勧めているようだ。

(2) 今後の改善方策

他校との差別化をはかって、学生募集に教職員一丸となり対応する。オープンキャンパスの回数を増やす。職業実践専門課程の認定を受けるよう準備を進める。

## 8. 財務

評価項目	評価達成結果
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5. 4. 3. ② .1

5.十分に達成、4.概ね達成 3.普通 2.まだ不十分 1.ほとんど進んでいない

(1) 課題

学校法人全体では黒字のままで推移しているが、浜田ビューティーカレッジは近年赤字が続いており、断固たる強い意志で黒字に転換するよう努めなければならない。

(2) 今後の改善方策

いっそうの経費節減に努める。入学生を増やす。

## 9. 法令遵守

評価項目	評価達成結果
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	5. 4. ③ .2 .1

5.十分に達成、4.概ね達成 3.普通 2.まだ不十分 1.ほとんど進んでいない

(1) 課題

自己評価結果の公表、学校評価結果の公表が遅れている。公表方法についても検討が必要である。

(2) 今後の改善方策

HPの有効活用をしていく。公表は義務となっているので、できるだけ早く取り組む。

## 10. 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価達成結果
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	5. ④. 3 .2 .1

5.十分に達成、4.概ね達成 3.普通 2.まだ不十分 1.ほとんど進んでいない

(1) 課題

カットボランティアは学生、施設の利用者双方に有効である。授業時数に支障のない範囲で続けたい。しかし、美容院の経営者からは営業妨害となることもあるのではないかと心配もある。定期的ではないが、要請があればイベント協力、出前授業等行って来た。

(2) 今後の改善方策

地域の一斉清掃にあわせて、奉仕作業を行ったり、夏休みに駐車場を開放して、ラジオ体操に協力したりしている。地域の中のビューティーカレッジであるよう努めていく。学生アパートがそばにあるので、挨拶等も指導していきたい。